

課目名	2026年度 理容技術理論	必修/選択	必修
履修時間	120時間	授業方法	講義
実務経験	実務経験のある教員等による授業科目		
実施方針	理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせで完成させる技術を習得させること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
		4	序章・第1章(理容技術の基礎・技術姿勢)
		8	第2章(理容用具について)
		8	第3章(ヘアデザインについて)
		10	第4章(ヘアカッティングについて)
		11	第5章(ヘアセッティングについて)
		13	第6章(パーマメントセットについて)
		10	第7章(ヘアカラーリングについて)
		12	第8章(シェーピングについて)
		10	第9章(理容エステティックについて)
		6	第10章(理容クリニックについて)
		6	第11章(シャンプーイングについて)
		3	第12章(理容マッサージ)
		9	第13章(ヘアトリートメント)第14章(ヘアトリートメント)
		10	各章のまとめ・復習
評価方法と基準	出席率85%以上、授業への取り組み評価試験で60点以上で合格。60点未満は再追試		

課目名	2026年度 理容実習	必修/選択	必修
実務経験	実務経験のある教員等による授業科目		
単位(時間)	690時間	授業方法	実習
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を得得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
	カット	200	シザー持ち方、コームの持ち方、セイムレイヤー、ワンレングス
			ミディアムカット、グラデーションボブ、メンズカット
			実技テスト、国家試験セイムレイヤーカット
	シェービング	90	レザー操作、基本プロセス、シェービング手順、レザーテクニック
			相モデル、眉毛・ヒゲの手入れ
			総合 適切な施術時間 接客対応 仕上がり確認
	フェイシャルトリートメント	20	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方
			乳液塗布 マッサージ 拭き取り
			実技テスト
	ヘッドマッサージ	20	手順
			技法練習
			手順テスト
			相モデルテスト
	ワンレングス	20	ラップブロー
			テンションブロー
			ラップブロー～テンションブロー
			アイロン操作
	ワインディング	40	ブロッキング、セッティング、上巻き、下巻き
			センター巻き、右サイド、左サイド
			全頭巻き、実技試験
	シャンプー	60	スタンドシャンプー手順、フロントシャンプー
			スタンドシャンプー～フロンシャンプー
			サイドシャンプー手順
			サイドシャンプー練習
			相モデル
			実技試験
	トータル実習	70	シャンプー フェイシャルケア 相モデル
			シャンプー ヘッドマッサージ フェイシャルケア
			シャンプー シェービング
			ヘッドスパ シェービング ネックリンパ
			総合 各種技術の組合せ
	カラーリング	40	使用用具について
			基本プロセス
			基礎テクニック 塗布練習
			リタッチテクニック
	創作ヘア	40	ステージ用ヘア創作
			フリースタイル
	実務実習	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ
		30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ
	大会練習	30	大会種目の集中練習
評価方法と基準	出席率85%以上 授業の取り組み評価 試験60点以上 60点未満は追試		

試

課目名	2026年度 総合技術		必修/選択	選択
単位(時間)	120時間		授業方法	実習
実施方針	基礎から応用。時間を意識し、施術する。カット技法、セット技法は、より実践に近い、仕上がりの完成度も高いものを目指す。			
授業内容と計画		時間	内容	
	サ ロ ン フ ー ク	6	カルテ作成	
		6	ヘルプの仕事を理解する	
		6	総合技術とリンパマッサージを組み合わせメニューを実習する。①	
		6	総合技術とカラー・パーマを組み合わせメニューを実習する。②	
		6	総合技術とヘッドエステを組み合わせメニューを実習する。③	
		2	全体の振り返り	
	カ ッ ト	7	概論(展開図の理解)	
		24	カット実習(レザーカット)	
		12	スタイルごとのセット	
		24	ミディアムカット	
	メ ン ズ セ ッ ト	6	ドライヤーの扱いとブラシ操作	
		3	クラシカルバック用カット	
		3	クラシカルバック	
		3	整髪料の扱い	
		3	サイドバック	
		3	クラシカルバック・サイドバック完成度チェック	
評価方法と基準		出席率85%以上 授業への取り組み評価 60点以下の場合は再試験		

課目名	2026年度 国家試験対策	必修/選択	選択
実務経験	実務経験のある教員等による授業科目		
単位(時間)	90時間	授業方法	実習
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
	カット	30	シザー持ち方、コームの持ち方、セイムレイヤー、ワンレングス
			ミディアムカット、グラデーションボブ、メンズカット
			実技テスト、国家試験セイムレイヤーカット
	シェービング	30	レザー操作、基本プロセス、シェービング手順、レザーテクニック
			相モデル、眉毛・ヒゲの手入れ
			総合 適切な施術時間 接客対応 仕上がり確認
	フェイシャルトリートメント	20	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方
			乳液塗布 マッサージ 拭き取り
			実技テスト
	シミュレーション	10	試験シミュレーション
評価方法と基準		出席率85%以上 授業の取り組み評価 試験60点以上 60点未満は追試	